

＜令和 7 年 6 月 12 日開催第 4 回議会運営委員会資料 2 より抜粋＞

第 1 回モニター会議の総括案について

＜所管委員会ごとのまとめ＞

総務経済常任委員会

情報発信	・(店)物件のことを役場窓口に聞いても情報がわからない ・ホームページのリンクの仕方について、まだ工夫が必要。 ・情報は深いところまで探さないとわからないし、見つけれられない。今は情報の過渡期で変わるのにまだ10年かかる。 ・発信が出来ていないわけじゃなく、届いていないだけ。知っていれば良かったこともあったし、もったいない。紙配布について新ルールが必要。職員も町民も上下なく、やさしくわかり合い、議論が必要。 ・(受けて側の)多種多様な情報発信が必要。
町内会	・もっと若者目線の意見を聞いてほしい。 ・ゴミ出しルールの周知が必要。最低限、情報共有のためにも若い人に入ってほしい。
交通安全	・子どもは自転車に乗る際ヘルメットをし、横断歩道を歩いて偉いが、大人は車を止めないのが困る。 ・通学路、見ていて危ない車が走っている。 ・(貯水場近く)交差点で車が飛ばして危ないが、交通指導員がいなくなった。 ・街中だからか、危ないと思ったことはない。 ・道道で歩道から落ちたら危険な所がある。自転車の指導は充分か。車道を逆走している子もいる。
芽室公園再整備	・議会は静観しているように見える。嵐山再生と同時にやっていけるのか、どうしていくのか。
ごみ	・車から捨てる人がいる。(日甜裏街道) ・ごみがあちこち落ちてると心がすさむ。問題点を改善できる町であつたらいい。 ・車の中をきれいにするため外にごみを捨てる。ごみが散乱すればさらに捨てる人が出る。捨てづらくなるよう何か工夫が必要。(赤い神社など)
住民参加	・意見を言い合える、活発な場があるといい。
DX	・ついていけない人達がいる。わかるまでが大変。
農業	・有機農業を進める、広める ・メムロピーナッツ等、有機肥料で栽培すると良い。 芽室町で作っているものと言える。 ・私は実はアトピー、花粉症、アレルギー持ち。有機を作った製品を使うと体に良いと感じている。
多様性の尊重	・特別支援教育の現場でも少数派の考えが生かされにくい現状がある。
経済対策	・物価高騰。収入が上がっても実質の減収。
シビックプライド	・我が子に楽しい思い出づくりと素敵な体験をしてほしい。そして芽室に戻りたいという気持ちを育てたい。
物価高騰	・お米やガソリンなど
地域住民の高齢化	・免許証返納者が増えている

自治体名に十勝がつく	・清水町の話。実際どうなのか？全市町村で足並みを揃えると良いのでは
公共交通	・免許のない方、何もできない。マイクロバスなどを役場で月1回くらい出してほしい。
除雪	・冬用に備えるチャンスと思う

総務経済・厚生文教常任委員会にまたがるもの

まちなか再生・ 子どもの参加	・出身は埼玉県で大きな街で育つ。芽室の駅前のシャッターが閉まっているのが寂しく「自分が何かできないだろうか？」という気持ちを持てるのは、芽室のサイズ感が自分ごととして町の課題を考えられるのにちょうど良いのだと思う。とはいえ、子どもたちに楽しい思い出を作ってあげたいので何か楽しいことができたかと考えている。
少子化対策・ 移住定住策	・人口減少と高齢化！人口が増えないと学校の存続やインフラ整備の面でも将来大変。
子どもの参加・ まちなか再生	・高校生が遊べる場所が芽室にほしい。みんな帯広に遊びに行っている（カラオケなど）
子どもの参加 まちなか再生 都市計画	・（高校生の思いを聞いて）ぜひ一緒に頑張りましょう！まちなかのシャッターを開けることに協力したい（不動産業としても）。→高校の新聞局でも芽室のまちなかのことを取材して魅力発信してみる（高校生から） ・まちなかの空き物件を取り扱うこともあるが、商店ではなく一般住宅として利用されてしまうとまちなかの賑わいをつくるのが難しくなる。もし町が何かしらの規制などを設けられるなら計画的な再整備ができると思う。

芽室町議会「議会報告と町民との意見交換会」の意見・提案・要望等の取り扱いフロー

